

## 〔回答要領〕「Innovation for SDGs」の事例募集について

2021年9月17日  
経団連SDGs本部

### 1. 「Innovation for SDGs」とは

- (1) 「Innovation for SDGs」は、経団連会員企業・団体等が取り組んでいる、SDGsの達成に資するイノベーション事例集で、経団連が運営する特設サイト「KeidanrenSDGs.com」(以下、特設サイト)において公開しています(※)。経団連が提唱する未来社会のコンセプト「Society 5.0」<sup>1</sup> (Society 5.0 for SDGs) につながるイノベーションを掲載しています。
- (2) 企業等による取組事例を国内外に広くアピールすることを通じて、他社や地方自治体、国際機関といった多様なステークホルダーとの連携につながるプラットフォームとなることも期待しています。

※経団連SDGs特設サイト／経団連会員・団体の取組み／Innovation for SDGs事例集 ([SDGs事例集](#) | [経団連](#) | [KeidanrenSDGs](#)) に掲載

### 2. 募集・掲載する事例について

- (1) 経団連では2018年に事例を募集し、以後、掲載企業のお申し出に応じて小規模な改訂を行ってまいりました。2020年からSDGsは「実行の10年」を迎え、企業等の取組みも進展していることを踏まえ、今般、会員企業・団体の皆様が取組む事例を改めて募集し、「Innovation for SDGs」を更新することにいたしました。
- (2) 「Innovation for SDGs」の掲載事例として、SDGsの達成に資するイノベーション (ビジネス手法や適正技術など多様なイノベーションを含む) を募集いたします。特に、AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術を活用して社会の課題解決をする「Society 5.0 for SDGs」に向けた取組みをご提供いただければ幸いです。  
(例：〇〇と連携し、□□の革新技術を用いて△△を図り、各国に展開しています。)
- (3) 「Innovation for SDGs」では、SDGsの17目標に関する事例を可能な限り満遍なく集めたいと考えております。1企業・1団体あたり最大10件の事例を提供いただけるようにしていますが、最も関連する目標1つにつき3

---

<sup>1</sup> AIやIoTなど革新技術を最大限活用することで、人びとの快適な暮らしとあらゆる社会的課題の解決を図るコンセプトです。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類社会発展の歴史における5番目の新しい社会を意味します。

件以内(※)とし、幅広い目標に関する事例をご提供くださるよう、ご協力願います。

※例えば、目標13の事例を3件、目標7の事例を3件、目標3の事例を2件、目標1の事例を1件、目標4の事例を1件で、合計10件など

- (4) なお、今般の事例募集に伴い、現在特設サイトに掲載されている事例については、削除させていただきます。そのまま掲載を希望される場合は、10月29日（金）までにご一報ください。

### 3. 事例提出締切：2021年10月29日（金）

4. 事例提出方法：次頁からの「事例ご提供の流れ」をご覧ください。

### 5. 提供データの取扱い

- (1) ご提供いただいた情報（個人情報<sup>2</sup>は除く）は全て「公開・掲載可」とさせていただきます。非公開情報は記入しないようご注意ください。なお、当会にご提出いただいた情報で生じた事項については、いかなる場合でも当会は責任を負いませんのでご了承ください。

なお、データを、当会もしくは第三者が加工等を行い、公表することは一切ございません。そのためご提出内容と特設サイトでの表示内容に差異がございましたら、お手数をお掛けし恐縮ですが、速やかに下記のご連絡先までお問い合わせください。

- (2) ご提供いただいた情報は、公開情報として、今後、当会が国内外で開催される会合で使用することや、当会が協力する第三者に情報提供する場合がございます。ただし、そうした場合でも、情報の提供元の確認なく、当会もしくは第三者が、情報を加工し、公開することを認めることは一切ございません。

#### 【本件に関する連絡先】

経団連 SDGs本部 萬屋、大久保、池澤

電話： 03-6741-0150

E-mail: [sdgsinnovation@keidanren.or.jp](mailto:sdgsinnovation@keidanren.or.jp)

※在宅勤務をさせていただく場合がございますので、可能な限りメールにてお問い合わせいただければ幸いです。

以上

<sup>2</sup> ここでの個人情報は、回答記入用紙「data.xlsx」の「回答情報」シートに記載されている内容（ご回答者様のご連絡先等）

## 事例ご提供の流れ

### (1) 現在サイト記載中の貴社事例の有無の確認

- 特設サイト (<https://www.keidanrensdgs.com/>) をご参照ください。併せて、今回ご提出いただく事例が掲載される際の参考としていただければ幸いです。
- 現在特設サイトに掲載中の事例については、今回の更新に合わせて削除させていただきます。
  - ・ そのまま掲載継続を希望される場合→10月29日(金)までにご一報ください。
  - ・ 事例内容を加筆・アップデートする場合→下記の手順に沿って、各項目を改めてご記入のうえ、フォームにて提出してください。

### ・ (2) 事例情報の作成 (エクセルファイル)

- 回答は(3)に記載のウェブフォームより入力をお願いします。  
ただし、ウェブフォームでは下書き保存ができませんので、社内での事前のご確認・ご共有には回答確認シート(Excel)をご活用ください。
- ご記入の際には、ご記入欄の右側のボックスに記載されている注意点もご一読いただきますようお願い申し上げます。
- 英語サイトにも事例を掲載される場合は、英語欄の必要事項もご記入ください。

#### 【ご提供事例に関するお願い】

(事例の内容について)

「Innovation for SDGs」では、ビジネス手法や適正技術など多様なイノベーションが含まれておりますが、可能な範囲で「Society 5.0 for SDGs」の主旨をご勘案いただきつつ、貴社・団体の取組み事例をご紹介・ご説明いただければ幸いです。

(例：〇〇と連携し、□□の革新技術を用いて△△を図り、各国に展開しています。)

(事例の分野について)

17目標に関する事例を、可能な限り満遍なく集めたいと考えております。

**1社あたり最大10件の事例**を提供いただけるようにしておりますが、**1目標(最も関連する目標)について3件以内**とし、幅広い目標に関する事例をご提供くださるよう、ご協力ください。

### (3) 事例情報の回答 (ウェブフォーム)

- こちらのウェブフォーム (<https://forms.office.com/r/2yeWKTPaCY>) から、案内に沿ってご回答ください。
- フォームからご回答いただいた内容は、回答送信後にブラウザ上に表示されます。回答内容は、「回答のPDFを印刷または入手する」ボタンから保存するか、事前に作成いただいた回答確認シートでご確認ください。
- 回答後に修正が発生した場合は、「既に行った回答の修正による再提出」を選び、再度回答をお願いいたします。

#### (4) 画像データの提供（メール）

- ▶ 1 事例ごとに 1 点、事例の内容を紹介する写真や図表を掲載できます。
- ▶ サイト内で適切に表示できるよう、画像サイズの指定がごさいます。  
「画像調整.pptx」を用いて、下記の要領で「メイン」「小（サムネイル）」の両バージョンをご作成ください。
- ▶ 同一の事例でも日本語サイトと英語サイトで異なる画像データを使用することが可能です。その際は、日英それぞれの「メイン」「小」バージョンを作成ください。
- ▶ ファイル名として、「企業名\_フォーム回答時の事例番号\_事例名」をご記入の上、出来上がった画像データをメールの添付ファイルで事務局（E-mail: [sdgsinnovation@keidanren.or.jp](mailto:sdgsinnovation@keidanren.or.jp)）にお送りください。

#### 特設サイト掲載用画像ファイルの調整方法

- ① 図表・写真 1 点をいずれかの枠内に収め、枠ごと保存してください。

<p>① 図・写真（メイン）1 枚を次のいずれかの枠におさめて、枠ごと保存してください。</p> 	
<p>高さの数値が大きい枠ほど画像の解像度が高まりますが、Web 上での表示が遅くなります。</p>	<p>枠ごと選択し、右クリックで「図として保存」を選択し、PNG 形式で保存します。</p>
 <p>上記のような PNG 画像ファイルが保存されます。</p>	

- ② ①と同様、高さ 130 ピクセルの小さな画像ファイルを作成し、保存します。

- ② 図・写真（小）を 1 枚を次に収めて枠ごと保存してください。



- ③ 作成した画像ファイル（メイン、小）の 2 つを最適化し、容量を圧縮します。

以上で完成です。

以上